

八代清流高等学校 平成29年度学校評価計画表

<p>1 学校教育目標</p> <p>生徒の無限の可能性を引き出すのは我々教師であり、妥協することなく徹底した指導を根気よく続けることが大事である。高校生活3年間は人生の最も基礎・基本となることを我々教師は知っている。生徒一人ひとりの財産づくりを支援していくことに全力を挙げ、次に示す人間の育成を目指す。</p> <p>(1) 豊かな人間性を持ち、「自律」した判断・行動ができる次代を担う人間 (2) 目標を高く掲げ、常に「進取」の気概をもって挑戦し、創造への意欲を燃やす人間 (3) 文武両道を目指し、心身を「錬磨」することにより、活力に満ちた逞しい人間</p>
--

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>求める学校像</p> <p>(1) 感動ある教育を展開し、生徒一人ひとりの進路希望の実現を図る学校 (2) 文武両道を目指し、学習面はもとより、部活動・生徒会活動・ボランティア活動等の充実を図り、活気が漲る学校とする (3) 地域住民に信頼され愛され、「行きたい高校」として中学生から選ばれる学校</p>

3 自己評価総括表				
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策
大項目	小項目			
学校経営	今後の学校経営の方向性の具体化	授業改善プロジェクトチームによる提言	大学入試改革、次期学習指導要領改訂に対応できる組織作り	教務主任、進路指導主事、学年代表から成るプロジェクトチームで検討を行い、提言する。
	安全な学校づくり	安全管理の徹底と整備	危険箇所の把握と早期対応	安全点検を年に2回実施し、安全100%を目標とする。
		危機管理意識の向上	危機管理マニュアルによる意識の共有化	防火防災訓練の実施と改善、生徒への緊急対応(処置)の周知徹底を図る。
	八代清流高校の評価向上	八代清流高校の周知	P R 方法の工夫及び「本校のよさ」の周知	最新ニュースの提供や学校説明会資料の改善を図るとともに清流SIを打ち出し、募集定員を満たす。
進学重視型単位制の周知		進学重視型単位制の特徴やメリットをP R	教育課程や選択科目を動画やスライドを使ってわかりやすく説明する。	

学力向上	わかる授業の推進	職員の授業力の向上	授業評価システムの再構築と授業力向上を目指した公開（研究）授業の実践	公開（研究）授業、合評会及び教科会（課題の共有）、授業評価、実践のサイクルによる授業評価システムを再構築するとともに、指導主事等を活用した研究授業を実施する。
	自学自習できる生徒の育成	生徒の自主的な家庭学習への取組	生徒の家庭学習時間を増やすための工夫と、家庭学習のやり方の指導	年3回の家庭学習時間調査結果をもとに各教科で家庭学習習慣の定着のための方策を検討する。また、面談週間や家庭訪問を利用して、学習の仕方をアドバイスするよう努める。
キャリア教育 (進路指導)	進路意識の高揚	生徒の進路意識の改革	個に応じた進路実現と四年制大学への進学希望者の増加	教務部単位制係と連携し、年6回程度行う面談の充実と1年次からの体系的な進路指導に努める。
		望ましい職業観・勤労観の育成	高大連携出張講座やインターンシップへの積極的な参加及び資格取得、検定への挑戦の促進	LHRや総合的な学習の時間「プロメ・プラン」2年次のキャリアプランニング活動の充実を図る。
	希望する進路を実現するための学力等の育成	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導	進路希望調査・模試データの有効活用。課外授業、土曜講座の充実	進路希望調査及び模試結果を分析し、個別面談に生かす。課外・土曜講座の出席率100%を目指す。
		コミュニケーション能力等の育成	小論文指導や面接指導の充実	総合的な学習の時間の活用と、全職員による3年生への小論文・面接の個人指導を実施する。
生徒指導	生徒の自律心と自尊感情の育成	自ら判断し、行動できる生徒の育成	生徒が自ら行動できる環境の整備	生徒が前面に立って自発的に協力して学校行事を運営する取り組みを行う。
		基本的な生活習慣の確立	時間の厳守 挨拶の励行	欠席数を減らす。朝学習に遅刻させない。
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない学校づくり	問題の早期発見と素早い対応	アンケート等の調査により、問題を発見し、早期かつ適切に対応する。
	交通指導の強化	交通マナーの向上	交通講話の実施 二重ロックの推奨	交通講話による交通安全教育を徹底する。生徒主体の二重ロック点検を実施し、二重ロック100%を目指す。

人権教育の推進	命を大切にする心を育む指導	命を大切にする心を育むプログラムの推進 自分の夢や目標を持たせ、人の役に立つことや尽くす姿勢を身に付けさせる。	指導ユニットに従って、心に響く多様な指導を実施 キャリア教育の充実を図り、自分と他者の役割や価値を尊重する態度を育成	全教科全領域で「生徒の命を大切にする心」を育む指導を実施する。 将来の目標の設定、自分の考えの発表などをおして、目標達成のための具体策を考えさせる。
	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会への積極的な参加	地域で実施される研修会への参加率向上を目指す。 校外研修会への積極的な参加を促す。
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身に付けた生徒の育成	LHR等による人権教育の充実	校内推進委員会による教育内容の検討と指導の工夫、改善に努める。
いじめの防止等	いじめの早期発見	生活アンケートによるいじめの早期発見 担任との面談によるいじめの早期発見	生徒・保護者へ3回（1・2年生）、2回（3年生）のアンケートを実施 アンケート調査後すぐに担任面談 長期休業後等に担任面談	定期的にアンケート調査を実施し、いじめの早期発見に努める。 担任の面談だけでなく、全職員が普段の学校生活の様子を観察し、いじめの早期発見に努める。
	いじめ根絶への取組	生徒会によるいじめ根絶の宣言 いじめ問題対策委員会の活性化	「心のきずなを深める月間」における取組の充実 いじめ事例解決率100%	生徒会で「いじめ撲滅標語」を募集し、「いじめ撲滅宣言」を作成する。 職員研修を実施する。 いじめ問題対策マニュアルの徹底を図る。
地域連携(コミュニティスクールなど)	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携	保護者の協力による学校行事の開催	体育大会や文化祭、ハーフマラソン大会等で保護者からの協力を得て、行事を成功させる。
		生徒による地域貢献	地域行事への協力	地域のボランティア活動に積極的に参加する。
	防災型コミュニティスクールの円滑な運営	学校運営協議会の活用	防災マニュアルの点検、学校に地域住民が避難してきた場合の対応マニュアル、防災教育方針の策定	学校運営協議会での検討結果を踏まえ、本校の方針を策定する。